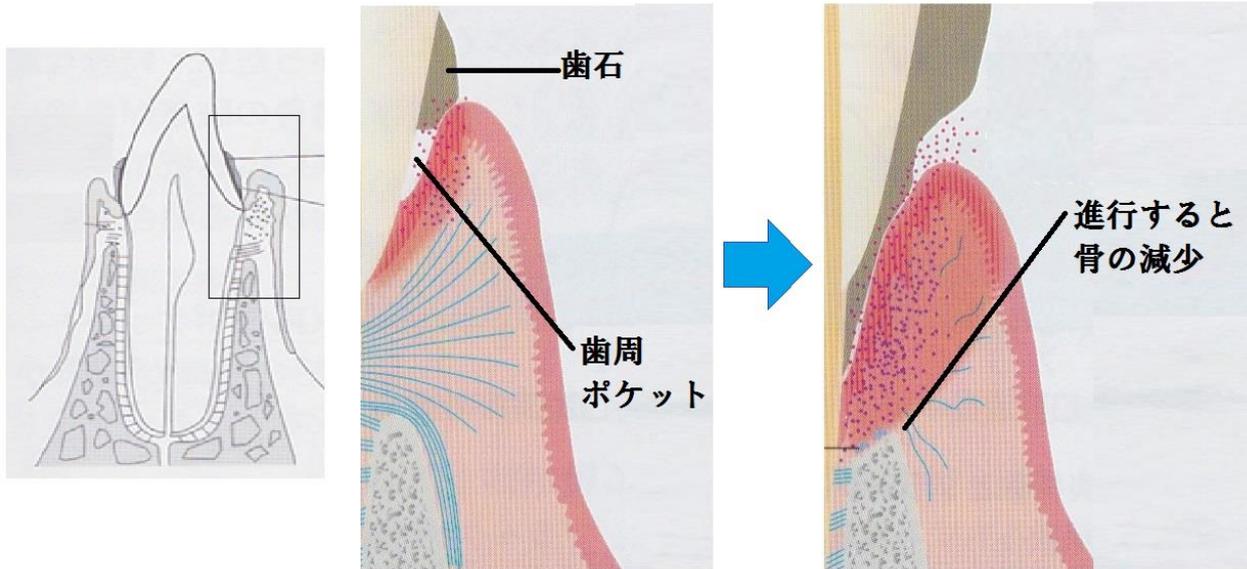


歯石除去の必要性について

歯の汚れがブラッシングによって除去されないと、その汚れに唾液の中のカルシウム成分が沈着し歯石となります。一度歯石になってしまうと、歯ブラシでは取れなくなり、歯科医院での歯石除去が、必要となります。



歯石の害は、主に歯周病と関連します。歯の周りには、歯周ポケットと呼ばれる溝1～2mmの溝があります。これは歯と歯茎の間にある溝で、歯周病菌がここに存在しています。

通常、歯磨きでこの溝の中の汚れを取り、歯周病菌の働きを弱めます。歯石はこの溝を覆ってしまうため、歯ブラシが歯周ポケットに届かず、歯周ポケットに汚れが残ってしまいます。

そうなりますと、歯周病菌の害により、歯茎が炎症を起こし、歯を支えている骨を溶かしてしまいます。その結果歯周ポケットはどんどん深くなり、歯ブラシが届かない状況をさらに悪化させます。

このように磨けない→汚れがたまる→歯周ポケットが深くなる→さらに磨けなくなるという悪循環を繰り返し歯周病は悪化していきます。この状況が続くと歯を支えている骨がどんどん無くなっていき歯がグラグラになり、いずれは抜けてしまいます。

歯周病はなかなか治りにくい病気ですが、進行を食い止めることはできます。毎日の適切なブラッシングと定期的な歯石除去・クリーニングをお勧めします。